

1 (4)カタカナ 3 字指定

(1)	A	ウ	B	ア	C	イ	D	オ	E	エ	(2)	エ
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

(3)	①	ア	②	イ	③	エ	(4)	ヒ	ア	リ
-----	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---

2

(1)	エ	(2)	X	ア	Y	イ	(3)	A	上弦の月	C	満月
-----	---	-----	---	---	---	---	-----	---	------	---	----

(4)	①	ウ	②	ク	(5)	南西	(6)	あ	イ	い	キ
-----	---	---	---	---	-----	----	-----	---	---	---	---

3 (1)漢字 2 字指定 (5)②③完答 (6)B C 完答

(1)	丸	底	(2)	ア	(3)	ウ	(4)	イ	(5)	①	ウ	②	イ	③	ア
-----	---	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	---	---	---	---	---

(6)	A	42	(°C)	B	200	(g)	C	200	(g)
-----	---	----	------	---	-----	-----	---	-----	-----

4

あ	90	mA	い	180	mA	う	360	mA	え	180	mA
---	----	----	---	-----	----	---	-----	----	---	-----	----

お	90	mA	か	270	mA	き	90	mA	く	180	mA
---	----	----	---	-----	----	---	----	----	---	-----	----

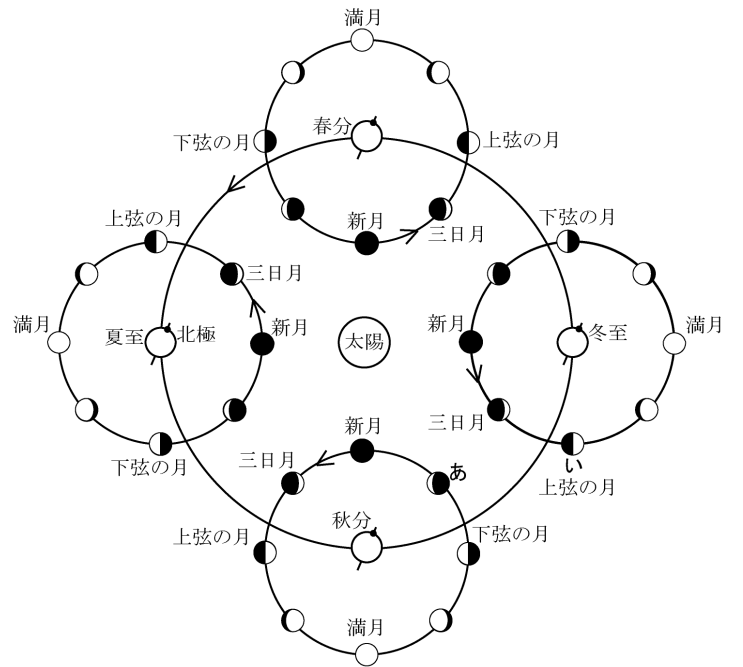
[配点] 1~3 : 各 3 点 × 28 = 84 点  
 4 : 各 2 点 × 8 = 16 点 (合計) 100 点

1

- (1) A…アゲハ, カブトムシ, ハエ, ゴキブリ, トンボにあって、クモにはない特ちょう(クモ以外はこん虫であしが3対で6本ある)  
 B…アゲハ, カブトムシ, ハエにあって、ゴキブリやトンボにはない特ちょう(さなぎの時期がある)  
 C…アゲハ, カブトムシにあって、ハエにはない特ちょう(はねが2対で4まいある)  
 D…ゴキブリにあって、トンボにはない特ちょう(はねがおりたためる)  
 E…アゲハにあって、カブトムシにない特ちょう(すう口である)

2

- (1) 地球は西から東へと自転しているのに、太陽は東から西へと動いていくように見える。  
 (2)(3) 季節, 月の形をかきこんで考える。  
 太陽に最も近いのが新月で、反時計回りに月は公転するので、右図のように、三日月→上弦の月→…と満ち欠けをする。右図は地球から見た月の形を表している。  
 (4)① Eは下弦の月なので、南中時刻は6時である。  
 ② Hは三日月なので、南中時刻は15時である。南から西へと移動するには6時間かかるので、15時+6時間=21時となる。  
 (5) 月食は満月のときに起こる。満月は0時に南中する。  
 3時すぎは南中から約3時間後なので、満月は南西にある。  
 (6) 右図のように、太陽に最も近いのが新月で、反時計回りに右側から満ちていき満月になるようすや、右側から欠けていくようすをかきこむ。



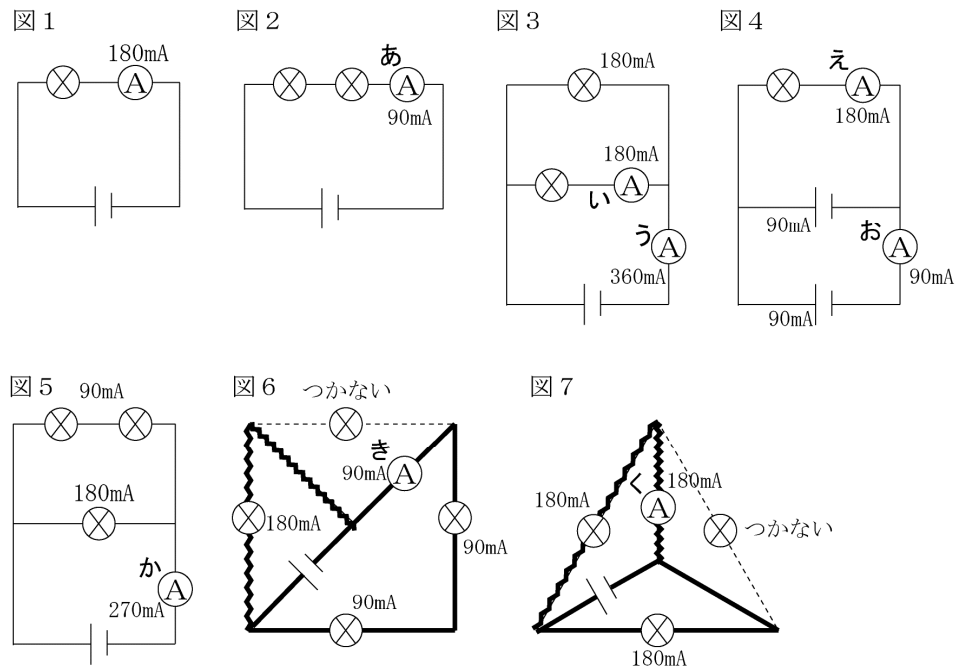
3

- (1) 加熱するときには、丸底フラスコを用いる。  
 (2) つゆ…空気中の水蒸気が水滴になってできる。  
 しんきろう…空気の密度のちがいに、光が曲げられて遠くの景色がゆがんだり逆さまに見えたりする。  
 しも, ダイヤモンドダスト…空気中の水蒸気が氷のつぶになってできる。  
 (5) 体についた水が水蒸気になるときに、体から熱をうばう(気化熱)。  
 (6)A 水の重さが同じなので、24℃と60℃の平均の水温になる。(24℃+60℃)÷2=42℃  
 B 1回目より、600g-(水100g+水100g)=容器400gとなる。  
 5回目 800g-容器400g=水の重さの合計は400gである。  
 水温が10℃と50℃の平均の30℃で一定になるので、BとCの重さは同じ重さである。

4

豆電球に流れる電流の大きさ =  $\frac{\text{直列の乾電池の数}}{\text{直列の豆電球の数}}$  (並列つなぎは、1本道以外をかくす) から計算する。

- 図1  $\frac{1 \text{ 個}}{1 \text{ 個}} = 1$  1=180mA  
 図2  $\frac{1 \text{ 個}}{2 \text{ 個}} = 0.5$  0.5=90mA…あ  
 図3  $\frac{1 \text{ 個}}{1 \text{ 個}} = 1$  1=180mA…い  
 180mA+180mA=360mA…う  
 図4  $\frac{1 \text{ 個}}{1 \text{ 個}} = 1$  1=180mA…え  
 180mA÷2=90mA…お  
 図5 上の道の豆電球  
 $\frac{1 \text{ 個}}{2 \text{ 個}} = 0.5$  0.5=90mA  
 下の道の豆電球  
 $\frac{1 \text{ 個}}{1 \text{ 個}} = 1$  1=180mA  
 90mA+180mA=270mA…か



- 図6 図5と同じように、豆電球1個の道と豆電球2個の道に分かれている。  
 図7 図3と同じように豆電球1個ずつの並列つなぎになっている。